

委員会行政視察研修報告

総務文教常任委員会 交流人口増加へ！キーワードはハワイ!?



委員長
魚谷 洋一

実施日 平成21年9月30日～10月1日
視察地 福島県いわき市

「スパリゾートハワイアンズ」

瀬戸内海のハワイとして観光大島の発展を目指している本町にとって、ハワイを共通項とした国内の団体、施設との交流が重要となってきた。今回の視察地「スパリゾートハワイアンズ」は、国内では有数のハワイ素材を活かしたパイオニアとして多くを学ぶことが期待でき、今日の成功に至った取り組み等の研修・視察を実施した。

昭和30年代後半から、エネルギーの主役は、石炭から石油に変わり、本州一の炭田であった常磐地方の状況は一変してしまった。この状況を救ったのが、石炭掘削の妨げとなっていた「温泉」であった。坑内から湧出する温泉の地熱と、豊富な湯量を利用することで、東北の地でも年間温暖な空間が創出できるとして、

昭和41年「常磐ハワイアンセンター」が炭鉱時代じゃまだあった湧水の温泉を利用し、「夢の島ハワイ」をイメージした日本初のテーマパークとしてオープン。平成2年「スパリゾートハワイアンズ」へ。また、昭和40年には、日本で初めてのフラメンコ・ポリネシア民族舞踏の各種学校として「常磐音楽舞踏学院」を設立し、専属ダンサーを養成している。現在では、年間150万人以上の来場者があり(宿泊38万人、このうち90%がリピーター)来場者の7割が東京都、千葉県、埼玉県、栃木県など。年間売り上げは、130億円。このように、地理的に恵まれており、規模的に本町とは大きな差があるが、今日の成功に至るまでの発想や行動は大いに参考になった。

地域の活性化や振興を促進するための発想や行動には、強いリーダーシップが必要であるが、地域全体で盛り上げなければ、何事も目標の達成は難しいということである。今後町発展のために今回の研修を活かしていきたい。

建設環境常任委員会 生きがいの持てる産業への取り組み!



委員長
安本 貞敏

実施日 平成21年9月29日～30日

視察地 福岡県小郡市「JAみい農協」

視察地 山口県下関市「唐戸市場」

今回の研修は「地産池消」が叫ばれる中、本町の地産池消は学校給食に、あるいは朝市などの展開がなされているが、いずれも小規模である。生産者が生活の糧とするにはほど遠い現状である。生きがいの持てる将来性のある農業、

漁業の先進地として両地域の視察を行った。

「JAみい」は肥沃な平坦水田地帯で農業条件としては最適であり、流通にも恵まれ、46市場と市場外流通63社へ出荷をしている。

小物野菜から重量野菜に至るまで幅広く生産されている。

唐戸市場においては、お客様との交流を大事にし、信頼関係の構築に最大の努力をしている。



民生常任委員会 最先端の緊急医療体制を視察!



委員長
尾元 武

実施日 平成21年10月5日～6日

視察地 熊本県上天草市「上天草総合病院」

福岡県北九州市「新小文字病院」

大島病院の完成を前に、周防大島町の医療・病院運営の在り方等について先進施設を視察し本町に相応しい医療のあり方を考えることを目的とし、また、へき地・離島における救急医療体制の確保の観点から、民間医療施設が運営しているドクターヘリ(ホワイトバード)について視察研修を実施した。

最初に、平成16年に合併した事により、郊外となった上天草総合病院では市全体の病院として位置付けるのにかなり苦労し、その対応として企業局は職員を地元に行事に徹底して参加させ、地域に「病院の必要性」

を理解してもらう努力をしてきた。現在では婦人会からタオル洗い等の手伝いをして頂けるまでになった。

第二の視察地「新小文字病院」(北九州市門司)では最先端の緊急医療体制とその現状を体験・視察し注目のホワイトバードについて説明を受けた。医療財団法人池友会の4病院で導入している患者輸送ヘリは、宗像市より半径250kmを運行範囲とし、周防大島町もその範囲にある。ヘリには医師及び看護師が乗務しているので一定の処置が即可能である。要請は医師の判断でなされる。周防大島町との連携では離着陸場として、東和病院は陸上競技場、橘病院では隣接する運動場が可能との報告があった。緊急時対応も安心であり、加えて負担金は無いとの説明も受けた。現在、本町も安心安全な町づくりの一環として前向きに導入を検討している。